

第26回 日本死の臨床研究会中国・四国支部大会

死生を支え合うコミュニティの創生 ～コンパッション都市を目指して～

日時：2026年4月19日（日）9:00～15:00（開場 8:30）

会場：サンポートホール高松

第2小ホール（ホール棟5階）香川県高松市サンポート2-1

大会長：辻 晃仁（香川大学医学部 臨床腫瘍学講座教授）

【午前の部】参加費 会 員 2000円
非会員 2500円・学生 無料

9:00～12:00 研究発表

【午後の部】市民公開講座 一般参加可 ※参加費無料

13:00～15:00

第一部 講演

「死とともに生きる文化を育むために」

講師：東北大学大学院文学研究科 教授 田代 志門 さん

第二部 座談会

東北大学大学院文学研究科 教授

田代 志門 さん

高松平和病院緩和ケア内科 部長

大西 綾花 さん

一般社団法人リヴオン グリーフケア認定講師

秋山 美智子 さん

演題募集

2025年

11月10日（月）

～12月24日（水）

市民公開講座・講師プロフィール

東北大学大学院文学研究科 教授 田代 志門 さん

【略歴】

1976年生まれ。岡山県出身。

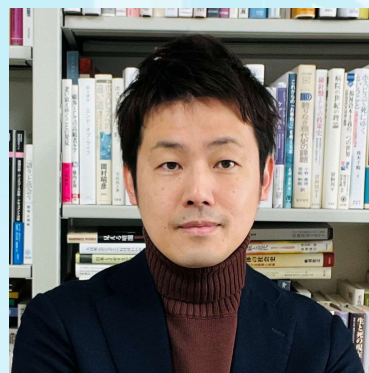
2007年東北大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）。

現在、東北大学大学院文学研究科教授。専門は社会学、生命倫理学、がん医療を主なフィールドとして、終末期医療のあり方や患者・家族の経験を研究している。

主な著書に『死にゆく過程を生きる——終末期がん患者の経験の社会学』（世界思想社）、『現代日本の「看取り文化」を構想する』（共編著、東京大学出版会）など。

【講師からのメッセージ】

ここ数年、死と死別とともに生きる地域づくりに関心を持ち、様々な現場を訪ね歩いています。今回の大会を通じて中四国での取り組みに触れられるのを楽しみにしています。



後 援：香川県・高松市・四国新聞社・香川県医師会・香川県看護協会・香川県薬剤師会・
香川県臨床心理士会（敬称略・順不同）

共 催：中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

主 催 香川大学医学部附属病院 緩和ケアセンター（事務局長：副センター長 村上 あきつ）

住 所 〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1 TEL 087-898-5111（代表）

第26回 日本死の臨床研究会中国・四国支部大会 死生を支え合うコミュニティの創生 ～コンパッション都市を目指して～

演題募集

**演題募集期間 2025年11月10日（月）
～2025年12月24日（水）終日**

○応募条件

- ・ 会員・非会員どなたでも応募可能です。

○抄録作成要綱

- ・ 下記の演題カテゴリを参照してください。
 - 【研究報告】
 - ・ 介入研究、観察研究、質的研究、際立った新しい知見を含む小数例研究など。
 - ・ （目的）（方法）（結果）（考察）の形式に基づいたものであること。
 - 【事例報告】
 - ・ 事例、少数事例についての新しい知見を含む報告。
 - ・ （はじめに）（事例）（考察）の形式に基づいたものであること。
 - 【活動報告】
 - ・ 施設・団体の活動
 - ・ （目的）（方法）（結果）（考察）の形式に基づいたものであること。

○個人情報、倫理指針

以下の指針に従って抄録を作成してください。

- ・ ヘルシンキ宣言
- ・ 個人情報の保護に関する法律
- ・ 症例報告を含む医学論文及び学会研究発表における患者プライバシー保護に関する指針
- ・ 医療、介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン

○利益相反の開示

- ・ 演題発表者と研究責任者は利益相反についての報告をする必要があります。COI開示をお願い致します。

○文字数（ファイル形式はMicrosoft Wordでお願いいたします）

- ・ 演題名：全角80文字以内
- ・ 演者名（共著者を含む）：最大11名、全角250文字以内
- ・ 所属機関名：最大6施設
- ・ 抄録本文：全角800文字以内

申込方法

演題を大会事務局メール c-rinsyo@kagawa-u.ac.jp にて受け付けます。1週間以内に受領通知メールをお送りします。

※受領メールが届かない場合はお手数ですが、香川大学医学部附属病院 緩和ケアセンター 087-898-5111（代表）までお問い合わせください。